

令和 1 年度事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

1、事業の成果

高次脳機能障害者と家族に対し、相談会を県下 5 カ所で開催していることもあり、地域の福祉施設や行政の相談窓口へも繋がりができて、福祉サービス窓口への連携と理解が広がっている。また相談会に地域拠点病院の担当者が参加することで、地域支援センターが家族にとって頼れるところになっている地域もある。福祉サービス事業では、2019 年度に障害福祉サービスの報酬改定があり B 型事業の報酬単価は、前年度の一人あたりの平均工賃月額によって決まることになった。このため、2018 年度の工賃による 2019 年度の報酬単価は、一番低いものが適用された。また、就労移行支援事業の報酬単価は、前年に一般就労の後、半年定着した利用者の人数によって決まる。2018 年度は、一般就労後半年間定着できた利用者が一人もいなかったため、就労移行支援事業の報酬単価も大幅に下がり、事業収入が激減した。一般社会への啓発活動においては、法人主催での講演会は備後地区のみで、広島市や廿日市は市との協働開催になっているため、啓発活動が行政の協力で実施できるため効果があった。

2、事業内容

特定非営利活動にかかる事業

(1) 高次脳機能障害者及びその家族への支援に関する事業

【相談支援事業】

決算 742,184 円

場所・日時	内容
廿日市相談会	廿日市記念病院や JA 総合病院からの紹介で来られるケースもあった。 グループでの対応だけでなく、個別での対応により福祉サービスへ繋がったケースもあった。
日 時	毎月第 3 木曜日 10:00～12:00
場 所	廿日市総合福祉センターあいプラザ
受 益 者	当事者家族延べ人数 55 名 医療等関係機関 42 名（廿日市記念病院 ST, MSW, メープル法律事務所） 個別相談 4 件
広島市中区相談会 (広島市高次脳機能 障害支援事業)	広島市の委託を受けて実施している家族相談会 生活相談：専門家と家族体験者がグループ形式で実施している。 参加した家族のそれぞれの悩みや対応法を話し合いながら、参加したみんなで解決策を考え、お互いの学びとなっている。 個別相談：生活での対応法、交通事故示談、福祉サービス利用について
日 時	毎月第 2 火曜日 生活相談:10:00～12:00 (グループ形式で) 個別相談：13:00～16:00 (予約制)

場 所 受 益 者	広島市中区地域福祉センター 5 階 当事者家族延べ人数 83 名 医療等関係機関 36 名（保健師、行政担当課、精神デイケア相談員、メープル法律事務所） 個別相談 27 件
呉 相 談 会	全体的な参加人数は減少しているが、初回参加者として、マッターホルンリハビリテーション病院の院長先生からの紹介の方が数名あった。
日 時	毎月第 4 木曜日 14:00～16:00
場 所	呉市つばき会館
受 益 者	当事者家族延べ人数 28 名 医療等関係機関 25 名（メープル法律事務所）
備後地区相談会	公立みつぎ総合病院のリハスタッフ、福山リハビリテーション病院の ST, OT, SW、も継続して参加している。
日 時	毎月第 2 金曜日 10:00～12:00
場 所	三原サンシープラザ
受 益 者	当事者家族延べ人数 96 名 医療等関係機関 56 名（みつぎ総合病院 OT, ST, SW, 福山リハビリテーション病院 ST, OT, SW, 太田記念病院 ST, OT, メープル法律事務所）
東広島相談会	参加者はいつも決まった人が多い。高次脳センターからの紹介で来られる人がいないのが残念である。
日 時	毎月第 3 火曜日 13:30～15:30
場 所	広島県立障害者リハビリテーションセンター 2 階多目的室
受 益 者	当事者家族延べ人数 61 名 医療等関係機関 31 名（広島県高次脳機能センター支援コーディネーター、メープル法律事務所）
実施成果	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な参加人数が減っているが、新規の参加者数は大きく変わっていない。 ・広島市の個別相談は 2 件枠では不足、3 件受けることも多かった。 ・当事者家族参加延べ人数 323 名 ・医療福祉関係者延べ人数 190 名 ・個別 56 件

【家族支援事業】

家族交流会	毎月第 2 火曜日 中区相談会の後、13 時～15 時まで 場所：広島市中区地域福祉センター 5 階	参加者 40 名
-------	---	----------

<p>日本高次脳機能障害友の会 代表者会議（東京）</p>	<p>令和1年4月8日9日 厚生労働省、国土交通省に、出向き話し合う。</p>	<p>濱田・守下</p>
<p>広島パイロットウォーク</p>	<p>令和1年10月6日</p>	<p>役員5名参加</p>
<p>高次脳機能障害地域ブロッ ク会議 in 山口 場所：山口県総合保健会館</p>	<p>令和1年10月12日 中国5県の拠点病院と家族会の会議と研修会 ①「山口県の現状と高次脳機能障害の基礎知識」 講師：兼幸浩史さん （山口県高次脳機能支援センター長） ②「当事者家族が主体的に生活を再構築するために」 講師：宮原智子さん（地域活動センターWAKABA） ③「社会的行動障害について」 講師：三村将さん （慶応義塾大学医学部精神・神経科教授）</p>	<p>濱田・守下・松田</p>
<p>日本高次脳機能障害友の会 全国大会 in 香川</p>	<p>令和1年10月18日 全国運営委員会参加、交流会 令和1年10月19日 講演会 ①「高次脳機能障害家族の介護負担感」 講師：渡邊修さん（東京慈恵医科大学リハビリテー ション医学講座教授） ②「高次脳機能障害の画像診断について」 講師：畠山哲宗さん（香川大学医学部脳神経科） ③「臨床現場で見えてきたこと」 講師：河井信行さん（香川総合リハビリテーション 病院福祉センター長） ④「これからの高次脳機能障害者を支えるしくみ」 講師：鈴木智敦氏 （名古屋リハビリテーション自立支援局長） シンポジウム 「本人の思いに沿った充実した生活に繋がった方 への支援について」</p>	<p>濱田・守下・松田 当事者家族 9名</p>

(2) 障害者総合支援法に基づいた福祉サービスに関する事業

【クラブハウス・シェイキングハンズ】

チャレンジ (就労移行支援事業)

決算：22,562,085 円

内容	自分の障害と向き合い就労に向けて準備する場で、同じ障害を持つ人との交流を通して、障害の気づきや理解を深める。働くための基盤を整える。
事業日程	通年月曜～金曜 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・就労支援員・生活支援員・職業指導員
受益者	定員 10 名 利用実人数 16 名
実施成果	一般就労 2 名 新規利用者 4 名 就労継続 A 型へ 1 名

ワークステージ (就労継続支援 B 型)

内容	利用期間の制限がないので自分のペースで自分に合った働き方を目指す。
事業日程	通年月曜日～金曜日 10:00～15:00
場所	クラブハウス・シェイキングハンズ
従事者	サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員
受益者	定員 10 名 利用実人数 9 名
実施成果	就労移行支援 (チャレンジ) へ 1 名 他の B 型事業所へ 1 名 入院、デイケア 1 名 リワークへ 1 名 新規利用者 0 名

就労支援事業 (当事者工賃事業)

決算 1,731,091 円

内容	ベルテガーデン清掃、広島市就労支援センター内職 清掃作業はグループで実施。 内職作業は仲間とコミュニケーションを取りながら実施。 みかんの受注、発送手続き、シート剥がし、車の部品作業
事業日程	通年月曜日～金曜日 10:00～15:00
従事者	サービス管理責任者・生活指導員・職業指導員
実施成果	作業をグループで実施することで、仲間とのコミュニケーションの訓練になっている。また、一般社会での作業を模して、あいさつ、声かけ、作業の分担等を配慮し合うことを学んでいる。清掃作業を通してその人の能力を観察でき、時間経過による変化が分かる。 2018 年度より新たな工賃向上のための作業として、みかんの受注と発送手続き作業を加えたことで、当事者への工賃支払額がアップした。

<p>備後地域勉強会 令和1年8月4日 場所：本郷生涯学習センター 参加者 80 名 主催：サポートネットひろしま</p>	<p>演題「高次脳機能障害 働いている当事者と家族と専門職の話」 第1部 講演 ①「高次脳機能障害とは」 講師：本多留美（当法人理事・広島都市学園大学 言語聴覚専攻科教授） ②「一応仕事をしているんですけど」 聞き手：本多留美 語り手：守下邦昭・守下潤子ご夫妻</p>
<p>協働講演会 第2回高次脳機能障害セミナー *令和1年5月26日 主催：中国新聞社 共催：いでしたクリニック・サポートネットひろしま 会場：広島市総合福祉センター5階 参加者：405人</p>	<p>「高次脳機能障害者の幸せな生活を目指して」 ①「高次脳機能障害とは」 講師：近藤啓太さん（広島県高次脳機能センター） ②「注意障害について～日常生活への影響」 講師：宮下幸久さん（広島市立リハビリテーション病院） ③「退院後家族が何に困っているのか？」 講師：濱田小夜子（NPO 法人高次脳機能障害サポートネットひろしま） ④「高次脳機能障害と地域包括ケアについて」 講師：高原伸幸さん（中四国厚生局健康福祉部地域包括ケア推進課） ⑤「高次脳機能障害デイケアの実際」 講師：井出下久登さん（いでした神経内科クリニック）</p>
<p>広島市高次脳機能障害講演会 *令和1年10月5日 主催：広島市 共催：サポートネットひろしま 会場：広島市総合福祉センタービッグフロント5階 参加者：86人</p>	<p>演題：「働いている当事者と家族と専門職の話」 ①「事故からの再起・働き続けること・結婚すること」 佐藤雄一さん（当事者） 佐藤弘美さん（母親） 座長：濱田小夜子（サポートネットひろしま理事長） ②「一応仕事はしているんですけど」 守下邦昭さん（当事者） 守下潤子さん（妻） 座長：本多留美さん（広島都市学園大学言語聴覚専攻科教授）</p>
<p>損保助成事業 高次脳機能障害リハビリ講習会 *令和1年11月9日 主催：広島県高次脳機能障害リハビリ講習会 共催：サポートネットひろしま 参加者：204人</p>	<p>演題：「高次脳機能障害の理解と対応」 ①「認知コミュニケーション障害の気づき方、対応法」 講師：廣實真弓さん（平成帝京大学健康メディカル学部言語聴覚科教授） ②「高次脳機能障害を抱えるかたと家族への心理支援」 講師：山舘圭子さん（栃内第2病院リハビリテーション部副部长）</p>

<p>廿日市市と共催講演 第2回高次脳機能障害研修会 *令和2年3月14日(予定) 会場：廿日市ウッドワンさくらびあ</p>	<p>演題：「あなたの運転は大丈夫？」 ー高齢者と高次脳機能障害者の自動車運転」 講師：渡邊 修さん（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座教授） コロナウィルス蔓延のため延期</p>
<p>冊子・パンフレット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「働いている当事者と家族と専門職の話」700冊（広島廿日市ロータリークラブ支援で作成） ・損保助成金「高次脳機能障害の理解と対応」作成700冊 ・ホームページでの情報発信

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

<p>外部からの講師依頼</p> <p>社福) きぼうの職員研修会 令和1年5月～月1回 6月～2か月に1回 参加者：14名</p> <p>広島西医療圏推進協議会研修会 平成31年4月27日 主催：西医療圏訪問看護推進協議会 会場：JA 総合病院内 参加者：40名</p> <p>久井町・大和町地域包括ケア研修会 令和1年6月26日 主催：三原北部地域包括センター 会場：三原大和人権センター 参加者：60名</p> <p>大野浦病院職員研修 令和1年12月11日 主催：大野浦病院 会場：大野浦病院 参加者 20名</p> <p>広島南区住民の会研修会 令和2年1月30日</p>	<p>内容：高次脳機能障害の基本から支援の仕方・考え方について 講師：藤原希恵（サポートネットひろしま統括支援員） 事業所職員さんの高次脳機能障害の対応法を学ぶため</p> <p>演題：「高次脳機能障害、訪問看護支援に求めること」 講師：濱田小夜子</p> <p>演題：「高次脳機能障害について」 「高次脳機能障害ってどんなこと？」 講師：本多留美（サポートネットひろしま副理事長・広島都市学園大学言語聴覚学科教授） 松田睦子（シェイキング・ハンズ副代表）</p> <p>演題「高次脳機能障害の就労に向けての課題と支援」 講師：本多留美（サポートネットひろしま副理事長・広島都市学園大学教授） 藤原希恵（サポートネットひろしま統括支援員）</p> <p>演題「高次脳機能障害を知ろう」 講師：濱田小夜子</p>
--	---

<p>主催：南区地域高齢者交流事業 会場：県健康福祉センター1階 参加者 20名</p>	
--	--

<p>第5回高次脳機能障害全国事業所ネットワーク研修会 令和1年12月21日（土） 主催：岩手高次脳機能障害友の会イーハトーヴ 会場：岩手自治会館 参加者：70名</p>	<p>基調講演：「ピアサポーターとの協働を目指して」 講師：四ノ宮美恵子さん （国立障害者リハビリテーションセンター非常勤講師・公認心理師）</p> <p>ワークショップ「体験から学ぶ対応法」 講師：山舘圭子さん（栃内第二病院 公認心理師） ・午前中は事業所管理者会を開催した。今の福祉制度の問題点や高次脳機能障害に合わない事での運営の難しさなどを話し合った。</p>
--	--

令和1年度 活動計算書

自平成31年4月1日 至令和2年3月31日

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額	
I 経常収益		
1.受取会費		
入会金	0	
年会費	717,000	717,000
2.事業収益		
就労支援事業収益	1,708,038	
障害福祉サービス事業収益	19,668,773	
体験料収益	35,000	21,411,811
3.受取寄付金		
寄付金収益	479,000	
書籍寄付収益	19,620	498,620
4.受取助成金当等		
広島市相談委託助成金収益	694,000	694,000
6.その他収益		
講師料収入	44,360	
受取利息	41	
雑収益	123,393	167,794
経常収益合計		23,489,225
II 経常費用		
1.事業費		
(1)人件費		
工賃(製)	619,000	
外部委託人件費(製)	90,000	
給料手当・賞与	16,868,726	
法定福利費	2,798,826	
福利厚生費	176,337	
退職金掛金	360,000	
人件費計	20,912,889	
(2)その他の経費		
材料費(製)	805,235	
研修研究費	299,771	
啓発事業費	174,000	
会議費	20,917	
旅費交通費	503,584	
車両費(事・製)	301,381	
通信運搬費(事・製)	575,726	
生活訓練費	130,500	
水道光熱費	351,497	
消耗品費(事・製)	831,141	
修繕費	37,800	
諸会費	37,000	
保険料	304,070	
リース料	148,128	
支払手数料(事・製)	10,673	
支払報酬料	252,000	
印刷製本費	129,600	
雑費	10,366	
その他経費計	4,923,389	
事業費計		25,836,278
2.管理費		
(1)人件費		
給料手当・賞与	4,810,695	
法定福利費	251,164	
人件費計	5,061,859	
(2)その他の経費		
地代家賃	3,236,391	
水道光熱費	36,846	
消耗品費	61,124	
通信運搬費	42,014	
旅費交通費	12,500	
リース料	16,464	
租税公課	77,000	
諸会費	59,000	
支払手数料	6,944	
支払報酬料	488,160	
減価償却費	1,072,714	
雑費	52,503	
その他経費計	5,161,660	
管理費計		10,223,519
経常費用計		36,059,797
当期経常増減額		-12,570,572
III 経常外費用		
固定資産除却損		7
経常外費用計		7
当期正味財産増加額		-12,570,579
前期繰越正味財産額		17,104,123
次期繰越正味財産額		4,533,544

(注) 次期繰越正味財産額には、設備整備等積立金 8,090円を含む

(注) その他の事業は実施を規定していません。

令和1年度 貸借対照表

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位:円)

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	2,110,400	
未収入金	3,392,984	
流動資産合計		5,503,384
2 固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	1,422,326	
車両運搬具	1,206,764	
什器備品	5,139	
有形固定資産合計		2,634,229
投資その他の資産		
設備整備等積立預金	8,090	
敷金	1,491,426	
預託金	21,880	
投資その他の資産合計		1,521,396
固定資産合計		4,155,625
資産合計		9,659,009
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金	3,000,000	
未払金	1,831,616	
預り金	293,849	
流動負債合計		5,125,465
負債合計		5,125,465
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産額		17,104,123
当期正味財産増加額		-12,570,579
次期繰越正味財産額		4,533,544
正味財産合計		4,533,544
負債及び正味財産合計		9,659,009

(注1) 次期繰越正味財産額には設備整備等積立金 8,090円を含む

令和1年度 財産目録

令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人高次脳機能障害サポートネットひろしま(単位)

科目・摘要	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	5,174	
普通預金		
①広島銀行五日市八幡支店	1,221,028	
②広島銀行五日市八幡支店	399,428	
③郵便局振替口座	133,860	
④郵便局通常貯金	350,910	
未収入金		
2・3月分利用者負担金	61,926	
2・3月分自立支援給付金	3,245,992	
3月分就労支援事業(受託事業)収入	85,066	
流動資産合計		5,503,384
2 固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備		
改装工事(平成23年)	7	
ローパーテーション	1	
事務所内壁・作業所出入口工事	824,051	
作業所改修工事	319,553	
改修工事(平成30年)	278,714	
車両運搬具		
ポルテ	1,206,763	
日産セレナ	1	
什器備品		
サクセスベル 検査道具 2セット	2	
ワークサンプル 2セット	2	
パソコン 1台	5,130	
台下冷凍冷蔵庫	1	
電磁調理器	1	
コンベクションオープン	1	
製氷機	1	
エアコン	1	
有形固定資産合計	2,634,229	
投資その他の資産		
設備整備等積立預金		
もみじ銀行緑井支店 普通預金	8,090	
敷金	1,491,426	
預託金		
車両リサイクル預託金 2台分	21,880	
投資その他の資産合計	1,521,396	
固定資産合計		4,155,625
資産合計		9,659,009
II 負債の部		
1 流動負債		
短期借入金		
濱田理事長より	3,000,000	
未払金		
3月分 給料手当	1,535,750	
3月分工賃・交通費	44,400	
3月分支払報酬	53,874	
3月分会社負担分社会保険料	197,592	
預り金		
源泉所得税	100,275	
社会保険料	193,574	
流動負債合計		5,125,465
負債合計		5,125,465
正味財産		4,533,544

(注1) 正味財産には設備整備等積立金8,090円を含む